記者発表資料

平成２５年１０月３日
湯沢河川国道事務所

「河川水辺の国勢調査」秋季調査を実施
～河川内の自然環境の変化を定期的、継続的、統一的に調査～

春季調査、夏季調査に引き続き、下記日程で両生類･爬虫類･哺乳類の秋季調査を行いますので、お知らせします。
秋季調査は、目視調査及びトラップ調査を行います。
※関連は、5月10日、23日、6月19日、7月10日に記者発表済み

国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所では、雄物川上流部および玉川など６支川、総延長 115.9km を管理しています。

■調査時期及び調査方法（別紙参照）

《調査日》
１０月７日（月）～１２日（土）に実施予定
《調査時間》
昼間の調査：　８時から１６時（予定）

■調査地点（位置図参照）
○定点調査地点
雄物川本川　３地点
支川（玉川、皆瀬川、成瀬川）各１地点

■調査体制
３人

※今後の調査（冬季）についても調査前にお知らせ致します。
※気象状況等によっては、調査を延期することがあります。

当事務所ＨＰ URL（http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/）

※発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢支局

《問い合わせ先》
国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所
湯沢市関口字上寺沢６４－２
電話０１８３－７３－５５４４
技術副所長　土田（つちだ）　恒年（つねとし）（内線２０４）
調査第一課長　畑山（はたやま）　作栄（さくえい）（内線３５１）

《参考》

■調査の目的、概要
　河川事業や河川管理の基礎資料とするため、瀬や淵の状況等を調査する「河川調査」と河川内の魚介類、植物、鳥類等の生息・生育状況等を調査する「生物調査」を、平成２年から「河川水辺の国勢調査」として、定期的、継続的、統一的に行っています。
　今年度は、前回調査から９年ぶり４回目となる両生類・爬虫類・哺乳類調査を実施するものです。

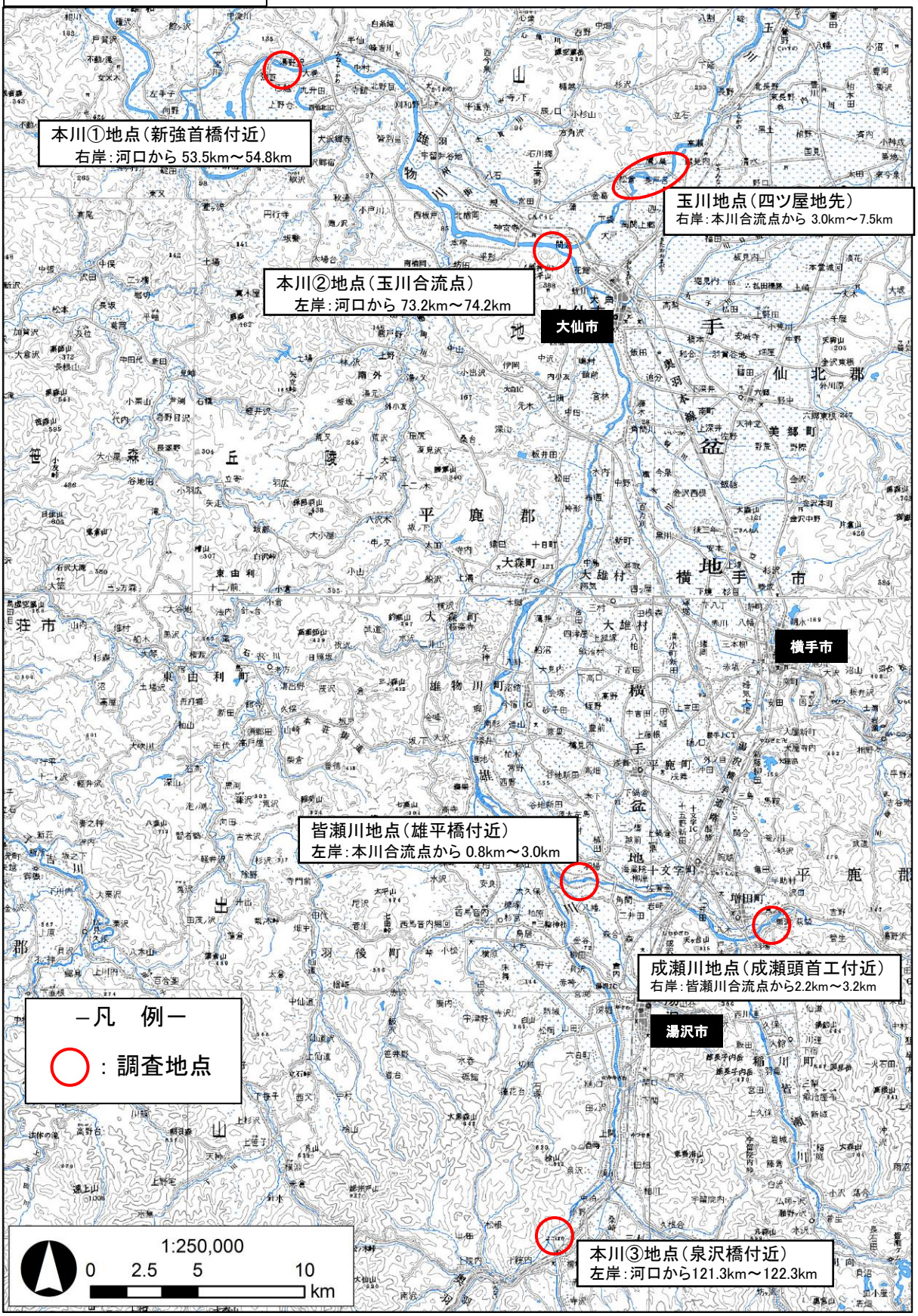
■調査時期及び調査方法（別紙参照）
　春季・夏季・秋季・冬季の４回調査します。

　《春季調査》
　　５月１４日～１６日に実施済み
　《夏季調査》
　　６月２４日～２９日に実施済み

■調査地点（位置図参照）
　雄物川本川　３地点
　　支川（玉川、皆瀬川、成瀬川）各１地点

■調査に対するアドバイス
　本調査にあたっては、小笠原暠秋田大学名誉教授にアドバイス頂いております。

■調査位置図


本川①地点（新強首橋付近）
右岸：河口から 53.5km～54.8km
玉川地点（四ツ屋地先）
右岸：本川合流点から 3.0km～7.5km
本川②地点（玉川合流点）
左岸：河口から 73.2km～74.2km
大仙市
横手市
皆瀬川地点（雄平橋付近）
左岸：本川合流点から 0.8km～3.0km
成瀬川地点（成瀬頭首工付近）
右岸：皆瀬川合流点から2.2km～3.2km
湯沢市
本川③地点（泉沢橋付近）
左岸：河口から121.3km～122.3km
－凡　例－
：調査地点
1:250,000
0 2.5 5 10
km

■調査方針

調査方針	・晴天時に日光浴を行う越冬前の爬虫類の確認をします。 ・哺乳類の捕獲調査（シャーマン型トラップ、墜落缶）を実施することにより、モグラ類、ネズミ類といった小型哺乳類を捕獲確認します。 ・多くの哺乳類で繁殖期にあたり、ネズミ類の個体数も増加している事から捕獲調査による確認をします。

前回(H16)の秋季調査で確認された種の例

ニホンリス



カナヘビ



アカネズミ



■調査日程

調査種類	日程					
	10/7（月）	10/8（火）	10/9（水）	10/10（木）	10/11（金）	10/12（土）
目視調査	本川①地点	本川②地点	玉川地点	皆瀬川地点	成瀬川地点	本川③地点
トラップ調査	【トラップ設置】 本川①地点 本川②地点 玉川地点	【トラップ確認】 本川①地点 本川②地点 玉川地点	【トラップ撤去】 本川①地点 本川②地点 玉川地点	【トラップ設置】 皆瀬川地点 成瀬川地点 本川③地点	【トラップ確認】 皆瀬川地点 成瀬川地点 本川③地点	【トラップ撤去】 皆瀬川地点 成瀬川地点 本川③地点

＊調査時間は8：00～16：00（目視調査及びトラップ調査）を基本としています。

＊「目視調査」とは、調査範囲において両生類・爬虫類・哺乳類の確認が期待される場所を任意に踏査し、目視観察調査するものです。

■調査手法（トラップ等の種類）

シャーマン型トラップ



アルミ製の生け捕り罠（シャーマン型トラップ）に、ピーナッツなどの誘引用の餌を入れて、設置します。

墜落缶



プラスチックカップやバケツ等を利用。地中に埋め、落下したネズミ・モグラ類を捕獲する生け捕りワナ。



（イメージ図）